

JIS

プレテンション式PCまくらぎ

JIS E 1201 : 1997

(2003 確認)

(2007 確認)

平成 9 年 11 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS E 1201-1990は改正され、この規格に置き換えられる。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。主務大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

主務大臣：通商産業大臣 制定：平成 2. 2. 1 改正：平成 9. 11. 20

官報公示：平成 9. 11. 20

原案作成協力者：社団法人 日本鉄道施設協会

審議部会：日本工業標準調査会 鉄道部会（部会長 原山 清己）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部機械規格課（〒100 東京都千代田区霞が関 1 丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

プレテンション式PCまくらぎ

E 1201 : 1997

Prestressed concrete sleepers—Pretensioning type

1. 適用範囲 この規格は、線路で使用する、PC鋼より線によってコンクリートに圧縮力を導入する方式のまくらぎ（以下、まくらぎという。）について規定する。

備考 この規格の引用規格を、付表1に示す。

2. 種類 まくらぎの種類は、形状によって分類し、表1のとおりとする。

表1 種類

| 種類 | 記号 | 用途 | 形状 |
|---------|-----|------------|-----|
| 3号 | 3PR | 軌間1 067 mm | 付図1 |
| 6号 | 6PR | | 付図2 |
| 7号 | 7PR | | 付図3 |
| ケーブル防護用 | CPR | | 付図4 |
| 継目用 | JPR | | 付図5 |
| 特殊区間用 | SPR | | 付図6 |
| 3T | 3T | 標準軌用 | 付図7 |
| 3H | 3H | | 付図8 |

3. 性能

3.1 まくらぎの曲げ強さ まくらぎの曲げ強さは、次のとおりとする。

- (1) まくらぎは、8.1(1)の試験方法によって、表2に示す曲げ保証荷重を加えたとき、ひび割れが生じてはならない。
- (2) まくらぎは、8.2(1)の試験方法によって破壊させたときの荷重が、表2に示す曲げ破壊荷重を超えるものでなければならない。